







オビカレハ

発生樹木	サクラ、ウメ、モモ、リンゴ、ヤナギ、アンズ、ニレなど
発生時期	年1回(幼虫) 3~5月 <div data-bbox="593 161 1054 206" style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">枝の分かれ目にくもの巣状の巣ができる</div>
発生状況	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> <p>冬</p>  <p>卵</p> </div> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> <p>春~秋</p>  <p>幼虫</p> </div> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;">  <p>幼虫</p> </div> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;">  <p>幼虫</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>成虫</p> </div> </div>
日常管理	<p>冬・枝を巻くようにして産卵された卵で越冬する → 卵の付いた枝を除去する</p> <p>春~秋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月下旬頃、枝の分岐部に^{てんまく}天幕状の巣が張られ、内部に幼虫が群生する (同じく巣をつくるアメリカシロヒトリと間違えやすい) → 幼虫が分散する前に樹木に付いた巣ごと撤去する ・ 枝の分かれ目に群れを成し、成長すると分散する <div data-bbox="1173 756 1469 804" style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">体は少し青っぽい</div>
薬剤防除	スミチオン、オルトラン、トアロー水和剤など

チャドクガ

かぶれる(激しいかゆみ)

発生樹木	ツバキ、サザンカ、チャ
発生時期	年2回(幼虫) 4下旬～6月 8～9月
発生状況	<p>冬 卵 葉裏</p>  <p>春～秋 幼虫 幼虫 幼虫 成虫</p>
日常管理	<p>冬・毛(有毒)でつつまれた卵で越冬する</p> <ul style="list-style-type: none"> → 卵の付いた葉を除去する(葉裏を見る) → 花後に剪定する(剪定することで卵の数が減り、風通しも良くなる) <p>春～秋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目の幼虫は4月下旬頃から発生するので、葉裏に黄褐色のケムシが群れていないか観察する。 → 幼虫が葉に群れている時に葉や枝ごと撤去する(撤去の際、絶対に触れないこと。振動で毛が飛ぶこともあるので注意する) ・ 2回目の幼虫は8月上旬から発生する ・ 成長すると分散し、被害が大きくなる
薬剤防除	スミチオン、オルトラン、ベニカエース、トレボン、オルチオンなど (薬剤散布後、葉に付いた死んだ幼虫の毛に触れてもかぶれるので注意!)

卵(毛で包まれている)、幼虫(毛虫)、成虫(蛾)すべてに毒がある

早期発見が重要!

有毒の毛を持っている

去年の死骸に触れてもかぶれる

アメリカシロヒトリ

発生樹木	サクラ、ウメ、カキ、ハナミズキ、モミジ、フジ、ヤナギ、ケヤキ、ハナカイドウ、トウカエデなど
発生時期	年2～3回（幼虫） 6月頃 8月頃 9月頃
発生状況	<p>冬 サナギ → 春～秋 成虫産卵 → 幼虫の巣 → 幼虫 → 成虫</p>
日常管理	<p>春～秋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サナギで越冬し、5～6月に成虫となり葉上に卵を産みつける → 葉の表面の卵を撤去する（葉が茂っていると見つけるのは困難） ・ 1回目の幼虫は6月上旬に発生。「くもの巣状」や「茶色く枯れた枝葉」がないか見る → 幼虫が分散する前に幼虫の巣を撤去する ・ 成長すると幼虫が分散し、被害が大きくなる ・ 2回目の幼虫は8月頃に発生する（9月頃に3回目が出ることもある） → 1回目と同様に、幼虫が分散する前に幼虫の巣を撤去する
薬剤防除	スミチオン、オルトラン、トアロー水和剤、ベニカエース、トレボンなど

雑食性で、100種類以上の加害植物がある

これが幼虫の巣

イラガ類


かぶれる(触ると痛い!)

発生樹木	サクラ、ウメ、カキ、モミジ、ビワ、クリ、カシ類、ヤナギ、サルスベリ、リンゴ、ケヤキなど
発生時期	年2回(幼虫) 6月、8~9月(年1回発生の種類もある)
発生状況	<p>冬 春~秋</p> <p>マユ → 成虫 → 幼虫 → 成虫</p> <p>幼虫の群れ</p>
日常管理	<p>冬・だ円球形のマユで越冬する。 → マユをたたいてつぶす</p> <p>春~秋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月頃、葉の上に黄緑色の短大な幼虫が密集する(単独で行動する種類もある) → 幼虫が分散する前に駆除する(有毒なので触らないこと) ・2回目は、8月頃発生する。 ・イラガ類には多くの種類があり、寄生する樹木も多数ある。 <p>きれいな色をしている</p> <p>触ると痛い! (電気虫とも言われる)</p>
薬剤防除	スミチオン、オルトラン、ベニカX、トレボンなど

タケノホソクロバ かぶれる

発生樹木	タケ、ササ
発生時期	通常年2回(幼虫) 5～6月 8～9月
発生状況	<p>冬 春～秋</p> <p>マユ → 成虫 幼虫 幼虫 成虫</p>
日常管理	<p>冬・葉や枝の分岐部につくられたマユで越冬し、5～6月にかけて成虫となる。成虫(蛾)は、体が黒色で日中飛んでいる。葉裏に卵を産み付ける。 → 成虫を見かけたら、幼虫の発生に注意する</p> <p>春～秋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目の幼虫は、5～6月発生する。体長約2cm、淡燈赤色、数本の束毛がある。裏に群生して葉肉のみ食うので葉の表面が白く見える。 → 白くなった葉を見かけたら葉裏を見る。群生している幼虫を駆除する。 ・ 2回目の幼虫は、8～9月に現れる。 ・ 3回目(9月下旬)が発生することもある。 <p><small>幼虫が集団で葉を食うと、ムシャムシャ音が聞こえる</small></p> <p><small>有毒なので触らないこと</small></p>
薬剤防除	スミチオン、オルトラン、トレボン、オルチオンなど

モンクロシャチホコ

発生樹木	サクラ、ウメ、ナシ、リンゴ、クヌギ、ニレなど
発生時期	年1回（幼虫） 8～9月
発生状況	<p>冬 春～秋</p>  <p>マユ → 成虫</p> <p>幼虫 幼虫 成虫</p>
日常管理	<p>冬・樹木の下での浅い土中でマユをつくって越冬し、7～8月に成虫となり、葉裏に卵を産む</p> <p>春～秋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月下旬～9月にかけて幼虫が発生する（年1回）。幼虫は、赤褐色で群生するが、成長するにつれて体色が紫黒色に変わり、白い毛が生じる。 → 幼虫が分散する前に捕殺する ・ 幼虫に全葉が食いつくされることがある <p>幼虫が大きくなると、木の下に幼虫のフン（赤黒っぽい色）が目立つようになる</p>
薬剤防除	スミチオン、オルトラン、トアロー水和剤など